

はらむら



議会だより

第107号

平成23年11月10日発行

発行／長野県諏訪郡

原村議会

編集／議会広報編集委員会

TEL 0266-79-2111

FAX 0266-79-7951

☎ 391-0192



がんばれ原っ子 一位をめざせ 小学校運動会

■平成23年■
第3回
定例会

- 9月定例会 2
- 委員会報告 4
- 第3回臨時議会 8
- 一般質問 9
- 議会日誌 14

9月定例会

平成23年第3回定例会は9月2日から20日まで会期19日間で開催された。

「平成22年度一般会計決算の認定」を初めとする村長提出議案等17件と議員提出議案4件審議した。委員会での審査の内容は委員長報告の通りです。

◎平成22年度一般会計決算の認定

(内容) 一般会計決算の状況は、歳入総額44億3千116万9千円に対し、歳出総額39億7千159万9千円となり、差引額は4億5千957万円であった。

前年度との比較では、歳入は176% (7千918万6千円) の減、歳出356% (1億4千623万2千円) の減で、翌年度に繰り越すべき財源は92万3千円で、実質収支額は4億5千33万7千円となった。

☆反対討論

・以前は「もみの湯」への送迎バス代は65歳以上は無料であったが、公共交通(実証運行)では70歳

以上となった、高齢者福祉の後退ではないか。

・農道の舗装工事が行なわれたが、時期・施工の不備があった。

☆賛成討論

・国からの交付金を活用し、学童クラブが新築された。また、原小・中学校に太陽光発電設備が設置されたのは、省エネルギーにつながる。

◎国民健康保険事業特別会計決算の認定

(内容) 前年に比べ世帯数・被保険者数ともにそれぞれ増加し、一人当たりの医療費も25万941円で前年比6.1%の増となっている。決算の状況は基金

より1千500万円を繰り入れ歳入8億5千234万2千円、歳出8億5千115万9千円、差引残208万2千円。なお単年度経常収支は6千500万円余の赤字となっている。

◎老人保健特別会計決算の認定

(内容) 老人保健医療は平成20年3月末で終了し、後期高齢者医療に移行となった。以後、特別会計で精算事務を行い、平成23年3月末をもって本特別会計は廃止された。

陳情の審議

審議された陳情と結果は次の通りです。

◎30人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する陳情書

陳情者

長野県教職員組合

諏訪支部

代表者 矢島 伸一

「賛成多数で採択」

◎長野県独自の「30人規模学級」の中学校全学年への拡大を求める意見書の提出に関する陳情書

陳情者

長野県教職員組合

諏訪支部

代表者 矢島 伸一

「全会一致で採択」

◎私立高校に対する大幅公費助成をお願いする陳情書

陳情者

中信地区私学助成

推進協議会

会長 赤羽 勝巳

「継続審査」

◎郵政改革法案の速やかな成立を求める意見書の提出に関する陳情書

陳情者

郵政政策研究会

南信北地区会

会長 笠原 徹

「賛成多数で採択」

◎浜岡原子力発電所の廃炉を求める意見書の採択を求める陳情書

陳情者

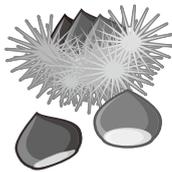
脱原発諏訪連合会

共同代表 笠原 俊

藤瀬 恭子

毛利 正道

「継続審査」



(3) 第107号 はらむら議会だより

意見書の提出

◎30人以下学級の早期実現
教職員定数増を求める
意見書

提出者 鮫島 和美
宛先 内閣総理大臣他

◎長野県独自の「30人規模
学級」の中学校全学年へ
の拡大を求める意見書

提出者 宮坂 早苗
宛先 長野県知事

◎郵政改革法案の速やかな
成立を求める意見書

提出者 日達 徳吉
宛先 内閣総理大臣
衆議院議長
参議院議長
郵政改革担当大臣
他

平成23年第3回定例会 審議結果

表記：○は賛成、×は反対、▽は退席、－は欠席

議案等 番号	議案名等	議員名										審議結果
		小池 和男	宮坂 早苗	鮫島 和美	木下 貞彦	小池 利治	矢島 昌彦	小平 雅彦	長谷川 寛	日達 徳吉	小林庄三郎	
《村長提出》												
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
議案第29号	原村税条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第30号	原村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第31号	原村重度心身障害者福祉年金条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第32号	原村災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第33号	平成23年度一般会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第34号	水道事業会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第35号	下水道事業会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
認定第1号	平成22年度一般会計決算の認定について	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	認定
認定第2号	国民健康保険事業勘定特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第3号	国民健康保険直営診療施設勘定特別特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第4号	有線放送事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第5号	農業者労働災害共済事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第6号	老人保健特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第7号	後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	認定
議案第36号	水道事業会計決算の認定並びに剰余金処分計算書(案)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第37号	下水道事業会計決算の認定並びに剰余金処分計算書(案)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
《議員提出》												
発議第6号	30人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出について	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
発議第7号	長野県独自の「30人規模学級」の中学校全学年への拡大を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第8号	郵政改革法案の速やかな成立を求める意見書提出について	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	可決
発議第9号	議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	否決

※五味武雄議長は採決に加わりません

委員会報告

総務産業常任委員会

委員長 小平雅彦

国民健康保険条例等条例の改正3件、一般会計補正予算22年度一般会計等決算の認定3件、郵政改革法案の成立等陳情2件を審査した。また、委員会での課題について事務調査を実施した。

◎一般会計決算

・景気低迷で個人住民税の落ち込みが大きい。
・防災対策として全国瞬時警報システム「Jアラート」が導入された。

・公共交通は実証運行の動向を踏まえダイヤの見直し、利便性等利用の拡大を図る。
・自治活動の推進を図るため「集落行動計画の策定」と魅力ある村づくりを推進する。

・結婚活動推進事業により独身の若者の意識改革と出会い交流の場をつくる。
・「樫の木荘は施設の老朽化が進み、建て替え等の検討が必要となっている。」等の説明があった。

☆住民税の状況、徴収方法等について議論され、「県税務課、滞納整理機構と連携を取り、徴収対策を進めている。」との説明

- ◎一般会計補正予算
- ・中新田北ため池の浚渫工事費。
- ・東日本大震災により消防団員の被災者補償のための掛金の増額（一人当たり掛金を1千900円から2万4千700円に引き上げる）等。

があった。

☆「消費生活対策の充実として、岡谷消費生活センターと松本消費生活センターへの統合は問題である。」との指摘があった。

☆「基盤整備後の水路、道路等に破損ヶ所が出ている。計画的改修が必要ではないか。」との指摘があった。

◎原村有線放送事業特別会計決算

・「アナログ放送終了にともなうサラダチャンネルの方向については慎重に検討したい。」との説明があった。

◎原村農業労働災害共済特別会計決算

・「加入農家数は減少傾向、支払いの主なものは休業見舞金、障害共済見舞金等。高齢者の事故が多い。」との説明があった。

事務調査報告

◎コミュニティ助成事業によるむらづくりの状況

・払沢区コミュニティセンター（公民館）
・ペンション区の自主活動による、村道沿い緑地帯の花木植栽。観光拠点の環境整備活動として期待される。

☆コミュニティ助成事業は多様な事業に活用されている。今後も有効活用を図り原村や地域活性化につながることを期待したい。

◎一ノ瀬汐の改修工事進む

・県営灌漑排水事業により、一之瀬汐のコレット布設替え等の工事が行われている。今後約1kmの改修が行われ、漏水防止、汐管理の適正化が期待できる。

◎豪雨災害による坪之端汐、弓振川改修工事の状況

・昨年7月の集中豪雨により、各所で土砂による埋没、護岸の決壊等災害が発生、大規模な復旧工事が実施された。



秋季訓練

社会文教常任委員会

委員長 長谷川 寛

今議会では、6議案、5件の決算認定、3件の陳情について審査した。

◎22年度一般会計決算

・福祉輸送サービスに、福祉車両の貸し出しも検討できないか。

・福祉タクシーは利用しやすく。

・助け合いマップの有効利用を。

・保育所の現状は、嘱託職員、臨時職員が大量に必要。できるだけ同一労働同一賃金にすべきである。

・未満児棟も、定員を空けておく必要がある。未満児入所審査に関して、より詳しい面接なども必要ではないか。

・若者定住新築補助の、建設地域限定を全村へ。

・村民登山は、事業の在り方を考える上で他市町村のケースも参考にし、慎重に検討する必要がある

・心の相談事業はますます必要になる。先生の力量に頼る部分も多いので働きやすい環境、待遇が必

要。

健康づくりに、医師、保健師の意見を結集してやってもらいたい。

等の意見が出された。

◎国民健康保険事業勘定特別会計決算

・単年度経常収支が6千600万円近い赤字で危機的である。

・特別会計の歳出減のためには、医療費総額を抑えることが必要。保健事業に力を入れ、ジェネリック医薬品の推進も考えられる。

・健康づくり事業には多くの予算が使われているので、参加者や成果等評価していく必要がある。

・「国保担当者、医療機関、医師・保健師が連携して予防に努め、保険料が上がらないよう努力してもらいたい。」との意見があった。

を中心、研修医が来やすい環境を整え、よい状態が続くよう努力してもらいたい。との要望が出された。

◎後期高齢者医療保険特別会計決算

・「決算そのものには瑕疵はないが、制度そのものを認めることができない。」との反対意見があった。

◎水道事業会計決算

・南原の配管敷設替えは塩ビ管から铸铁管に替えるもの。

◎下水道事業会計決算

・「施設の長寿命化に向けて目配りし、地道に努力することを期待する。」との意見があった。

◎長野県独自の「30人規模学級」の中学校全学年への拡大を求める陳情。

・「少人数でも少なくなり過ぎない30人規模学級を進めることは賛成。」との意見があった。

(5) 第107号 はらむら議会だより

◎23年度水道事業会計補正予算

・新規井戸の事業用認可に、夏・冬2回の揚水試験が必要のため。

◎23年度下水道事業会計補正予算

・関係する工事が増加したことによる。

◎国保直営診療施設勘定特別会計決算

・諏訪中央病院との連携を密にして、安藤診療所長



保育所運動会

視察報告

議会運営委員会

委員長 矢島 昌彦

8月9日から2日間、群馬県の下仁田町と榛東村の視察を行った。

下仁田町は人口8千912人。ネギと蒟蒻こんじやくで有名な町です。議員定数14人を2人削減との事で訪問。平成17年に行政改革特別委員会を設置して、報酬、議員定数の削減等の議会改革を進めている。今年9月に行われる選挙から、2人削減して定数12人とする。削減により、常任委員会は3から2とした。

また、議案一体の原則から21年より予算決算特別委員会により、審査する。9月の選挙には現職12人、新人2人が出馬。現職は選挙カーを使わないで選挙に挑むという。

榛東村は榛名山の東麓で、前橋市へのアクセスもよく、人口の多い村です。村税は13億円余、陸上自衛隊ヘリ

コプターの基地があり、その助成金が5千4百万円。財政豊かに感じた。人口1万4千720人。議員定数16人。諏訪市議会より定数が多いので訪問。議員定数は、吉岡町と16年に任意合併協議会で協議した。協議は休止しているが20年に議員定数を2人削減して16人にして、予算特別委員会と決算特別委員会を設置した。現在の定数は16人が適正である。常任委員会は3委員会あり、決算の後に、新年度予算編成に伴う改善点を一覧表にして執行機関に要望書として提出している。議員報酬は隔年ごとに報酬審議会の答申を受けている。

一部事務組合議会報告

諏訪広域連合議会

第3回定例会は、10月4日・5日に開催された。承認議案2件、認定議案6件を全会一致で可決・認定した。

域全体で5万4千906人うち、原村は2千53人。

介護保険利用者一人当たりの保険給付費（1ヶ月の平均）は、広域全体で15万4千453円。原村は、16万2千867円。

◎平成22年度一般会計・特別会計決算の認定
(別表 決算書による)

☆一般会計

- ・歳出では、病院群輪番制病院（6病院）運営事業補助金として、3千2百73万円。小児夜間急病センター事業費として、1千95万8千円など。

☆特別養護老人ホーム恋月荘

- ・平成23年3月末、在所者数は、78人（男・13、女・65）。うち、原村の方は5人。

☆救護施設八ヶ岳寮

- ・平成23年3月末、在所者数は、134人（男・67、女・67）

☆介護保険

- ・第1号被保険者数は、広

- ☆諏訪広域消防
 - ・デジタル無線・通信指令センター供用開始。（平成27年度予定）
 - ・消防本部・指令センター・岡谷消防署を現在地（旧岡谷市役所）から約400m北側に移転。
 - ・消防緊急デジタル無線を整備する。



諏訪広域連合平成22年度決算書

(単位：千円)

会計名	歳入	歳出	差引残高	原村負担金	
一般会計	184,671	159,989	24,682	7,613	
特別会計	特別養護老人ホーム恋月荘	421,177	330,181	90,996	-
	救護施設八ヶ岳寮	421,828	394,214	27,614	3,677
	介護保険	13,805,684	13,752,688	52,996	77,199
	諏訪広域消防	1,998,808	1,840,695	158,133	122,257
	ふるさと市町村圏基金事業	21,644	12,551	9,093	-



南諏衛生施設組合議会決算

(単位：千円)

	合 計	原村負担分
歳 入	208,720	39,816
歳 出	167,984	-
差 引 額	40,736	-

議会定例会
9月27日、富士見町議会
議場において開催し、平成
22年度歳入歳出決算と議
員の派遣を、全会一致で可決
した。

南諏衛生施設組合議会

諏訪南行政事務組合議会

諏訪中央病院組合議会

◎委員会条例の一部改正

灰溶融事業が中止にな
ったこと。新に循環型社
会形成推進計画の策定の
ため改正。

全会一致で可決。

◎22年度決算について

静香苑の事業は例年並
みの運営でした。原村の
負担は44万円余でした。

ごみ処理事業は負担割
が各市町村の実績割りに
なった。原村はごみ総排
出量12%増で負担7千110
万円余でした。

18年から最終処分場の
延命処置として焼却灰を
外部搬出している。小諸
市と新たに、草津町の2
社の最終処分場と契約し
た。

灰溶融事業は中止に伴
い用地の整備費、国庫支
出金返還金が主な事業で
した。

原村の負担は880万円
でした。

全ての議案を全会一致
で認定した。

8月定例会が8月25日に
開催され、平成22年度決算
案などの提出があり、全議
案を全会一致でそれぞれ可
決認定された。

利用患者数は、入院が11
万3千725人で1千802人の増
外来は19万1千597人で8千
663人の増（ともに前年度
比）となった。

病床利用率（約87%）も
上がり、診療報酬が特に手
術に対して厚くなったため、
入院の診療単価も上がり、
患者増と合わせて医療収益
で前年より4億6千万円の
増となるが、費用では人件
費及び材料費がふえ、今年
度は1億9千万円の赤字と
なり、当年度末、未処理欠
損金は13億9千136万1千円
となった。

介護老人保健施設「やす
らぎの丘」と看護専門学校
の特別会計決算案も全会一
致で認定した。

諏訪中央病院組合平成22年度会計決算

(単位：千円)

	収 入	支 出	差 引 額
病 院 事 業	7,158,923	7,348,904	△189,981
老人保健施設	441,689	438,330	3,359
看護専門学校	153,485	132,833	20,652



諏訪中央病院 病院祭

第3回臨時議会

平成23年第3回臨時議会が7月13日に開催された。原村農業委員会委員の議会推薦など2発議を審議し可決した。



戦没者追悼式

平成23年第3回臨時議会 審議結果

表記：○は賛成、×は反対、▽は退席、―は欠席

議案等 番号	議案名等	議員名										審議結果
		小池和男	宮坂早苗	鮫島和美	木下貞彦	小池利治	矢島昌彦	小平雅彦	長谷川寛	日達徳吉	小林庄三郎	
《議員提出》												
発議第4号	原村農業委員会委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	推薦
発議第5号	東京電力福島第一原子力発電所の事故対応及び原子力から安全で再生可能な自然エネルギーの政策転換を求める意見書(案)	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決

※五味武雄議長は採決に加わりません

意見書の提出

○東京電力福島第一原子力発電所の事故対応及び原子力から安全で再生可能な自然エネルギーへの政策転換を求める意見書。

(意見書の内容)

○事故に関する情報を開示し、収束に向けたあらゆる対策を講じること。

○被災者の健康・生活・就労について政府としての責任を速やかに果たすこと。特に子供たちの健康に配慮し、次世代に健康への影響が及ばない処置を講ずること。

○各自治体の地域防災計画の見直しに際し、原子力事故を想定した対策を立てられるよう基準と指針を設けること。

提出者 長谷川 寛
宛先 内閣総理大臣他

議会推薦の原村農業委員

牛山 博文さん (大久保)
五味美枝子さん (判之木)

(任期 3年間)



こひつじ運動会

一般質問 村政を問う

福祉施設の 利用見直しを

小林 庄三郎

担当者に研究を指示した



〔質問〕老人憩いの家、保健センターは老朽化している。耐震の関係もあるため、地域福祉センターを含めた施設利用の見直しが必要。〔村長〕使いやすく、福祉

の拠点としての機能を備えた場所にしていく必要があると考えている。建替えは単独事業でやるのは大変、良い補助金などが見つけられるかにもかかっているが、既に担当者には、基礎的な研究をするようにと指示をしている。

〔質問〕役場及び村の施設の駐車場をより安全で使い勝手がよくなるように整備すべき。

〔村長〕地域福祉センターについては、駐車場スペースが狭く、保健センター及び老人憩いの家が老朽化していることを踏まえて有効な施設利用とあわせて、駐車場の確保を図っていきたい。

職員の駐車場についても検討していく。



〔質問〕村の関連施設すべてに、LED照明を取り付け、節電を進めるべきでは。

〔村長〕原発事故もあり、国全体が電力の供給が大変になっている。当村でも取り組んでいかなければいけない喫緊の課題だ。5月に原村図書館において、LED照明への工事が行なわれ、3ヶ月での効果は対前年比39%から47%の削減が確認された。役場庁舎については、今年より各階フロアをブロック別、段階的にLED照明化を年次計画で進めたい。

防犯組合ですでに方針を各区長さんに伝えてあるが、街灯、防犯灯のLED化するについては、補助を考えている。

浄化槽排水を河川放流方式に変えるのか

長谷川 寛

河川放流は、ケースバイケースで

〔質問〕エコライン沿いに計画されているレストラ

ンでは、合併処理浄化槽からの河川放流を認めたが、今後、この方式にするのか。そうであれば、今の条例施行規則は改定するのか。

〔村長〕原村は、前置する浄化槽の能力の基準を県基準より数段階厳しくしている。水の流れる河川のない所など、土壌発散の方式でやらざるを得ない。河川放流はケースバイケースで認めていく。要項を改正してまでの対応は考えていない。

〔質問〕維持管理の体制は。〔建設水道課長〕週一回の頻度で行う。

水質検査も年二回行う。下流域の同意が得られ、環境保全審議会の許可も得

ている。

〔質問〕県の森林税は村でどのように使われているか。また、村として、森林整備事業への補助制度を設ける考えは。

〔村長〕22年度、森林税を使って、56万円余の事業を行った。原村として森林整備の補助制度を持っていないことは、考慮しなければならぬ。早急に整備していき

〔その他質問事項〕

○高速道路原村バス停(下り)の階段を、照明で明るくすべきではないか。

真剣で具体的な、 大震災救援と防災対策を

鮫島和美

第107号 鮫島和美の発言



力の及ぶ限り努力している

遺などの支援は困難。洋式トイレは役場に一箇所ある。地区公民館のトイレの大部分は男女共用であり、これは原村の文化である。地区公民館は、各区の所管なので村が手を出す問題とは言えない。

(質問) 大震災後半年を経過した今、被災地と連携して長期に職員を派遣するなどに力を入れるべきである。

また、気候変動の影響により、災害の規模も予想を超えているものになっている。新しい観点で災害対策を見直す時である。そして、具体的には緊急時を考え、役場その他の公共施設のトイレの洋式化、男女別トイレへの改修の指導も行うべきである。

「村長」 村の職務体制にゆとりはなく、職員の長期派

(質問) 特に小さい子どもを持つお母さんから、放射線量の定期的測定と結果の公表の要望が出ているが、どう考えるか。

「村長」 7月26日、役場の屋上及び駐車場、小学校校庭で放射線量の測定を行った。いずれも心配のない結果だった。今後も専門業者に委託して、原小学校など村内3箇所定期的に測定し、結果も公表する。

(質問) 開業予定のたてし

おおよその耐震工事費用は

小池利治

平均で200万円、 住宅リフォームを兼ねれば 最高で70万円の補助



(質問) 原村も東海地震強化地域に入っている。地震への対策を本気で取組まなければならぬ。耐震診断は無料であっても、実際の工事にどのくらいの費用がかかるかわからず、不安という人もいると思う。おおよその耐震工事の費用はどのくらいか。

「村長」 他市町の場合、平均的に見るならば200万円程度。

(質問) 国、県の補助が60万円、住宅リフォームを兼ねてやれば、70万円の補助がつくということか。

「村長」 最高の場合70万円を立てるべきでは。

善の方法だと思ふ。

(その他の質問)

○村として、戦争遺品の保存を

○役場前に「非核平和宣言の村 原村」の表示塔を

な自由農園レストランの、し尿排水の河川放流について不安の声が高まっている。これにどう対応するのか。

「村長」 県の基準よりきつい基準を採用して、能力の高い浄化槽を設置することにより、県の認可を受けているので問題はないし、最

七月、八月のセルリーが不作で半分も出荷できない農家もある。各個人の技術の問題だけでなく、連作と温暖化の影響が考えられる。セルリー生産日本一を守るためにも、村としても各機関に協力をお願いし、専門家などを交えて、土壌、種子等の研究に取組むべきでは。

「村長」 セルリーに関しては農協の専売特許のようなところがある。村としては、22年度より有機栽培産地確立事業として、堆肥の購入、運搬、散布に30%の補助をしている。堆肥を利用することで、病害虫に強い野菜が育つ。662トンセルリー農家が購入し、全体の利用率の50%を上まわっている。

(質問) 中央道上りバス停「原」を利用する時、東側駐車場からは、側道を横断しなければならぬが、交通量が多くて危険。安心して安全に渡れるように考えてはどうか。

「村長」 注意を啓発するよいうな、桃太郎旗、看板等を考えてみたい。

緊急情報用に屋外スピーカー 設置の考えは

木下 貞彦

今後考えていく



〔質問〕 災害情報の村民への伝達手段の現状と、屋外スピーカー設置の考えは。

〔村長〕 原村地域防災計画で定め、有線放送や広報車、村ホームページで知らせ、防災ガイドブックや、ハザードマップを全世帯に配布し、周知を図っている。これを基本としている。屋外スピーカーは、今後考えていくことになると思うが、激しい豪雨時は聞き取りにくい等、一長一短がある。防災行政無線については、昭和59年に導入し、26年間使用しているが、これもデ

ジタル化が言われており、屋外広報の同報系無線化とともに、近い将来、検討していかなければならない問題だと考えている。予算に於いては、財源に限りがある。優先度をつぶさに検討していかねばならない。

〔総務課長〕 防災行政無線は、車載系、携帯系合わせて30局があり、現地におもむいた職員が、基地局の役場とやり取りができる。携帯電話が使用できない災害時に威力を発揮することができる。防災行政無線には2波の設置があり、もう一波は共通波で近隣の市町村とやり取りできる。

〔質問〕 中央道側道の諏訪プレス東側の、U字溝に、車の脱輪が多い。緊急的に

蓋等の工事はできないか。また、道路拡幅交渉はできないか。
〔村長〕 状況を見て出来るものならやる。拡幅工事は相手次第。

マレット場の駐車場の整備を

日 達 徳 吉

体協マレット部と検討



〔質問〕 御山マレットゴルフ場の管理棟東側と、トイレの周辺を整備し、駐車場に出来ないか。平成7年に開所し、11年に拡張されて、現在部員は100名以上いる。

大会等の利用も増え、六市町村の大会には、150名、200名が利用している。駐車場は、土捨場も利用するが、満車で管理棟周辺にも止めている状態。

〔村長〕 土捨場の駐車場を利用してほしい。

〔質問〕 管理棟東の木を少し減らして砂利を入れて景観を良くし駐車場のスペースを拡幅してはどうか。

〔村長〕 体協マレット部の皆さんと相談し、検討していきたい。

〔質問〕 同棟の南側道路に側溝を作り、水はけを良くしては。

〔村長〕 公図の道を利用している関係上、構造物のU字溝を入れるのはふさわしくない。土側溝で対応してはどうか。

〔質問〕 役場からの電話が携帯電話にきた時、仕事や会議中等で対応できない。役場に連絡しても何課からか解らず、二重の手間になる。事務の効率化の観点から、各課に携帯電話を設置しては。

〔村長〕 役場からの発信は代表番号になっていて、発信元を訪ねる事がむずかしいと思う。10課に1台携帯電話を配置した場合、試算すると、携帯と通話料のランニングコストを合せて導入した年は、約90万円かかるので経費上むりである。



収穫の秋 (コンバインによる刈取り)

家族介護用品支給事業の 支給範囲拡大は

小平 雅彦

簡単には出来ない実態を 調査し検討する



して整備する。
斜面を利用した草原の復元、樹木の手入れにより美しい景観づくりを計画的に進めていく。

〔質問〕原村総合計画に定めた「景観法」の策定を進め、道路沿いの美化、田園風景、農村景観等、美しい景観づくりに向けた施策展開を進める必要があると考えるが。

〔村長〕「景観と村づくりの会」の活動や住民意識を高め、美しい景観、美しい村づくりに取り組んでいく。

〔質問〕家族介護用品支給事業の対象者は、要介護4・5の認定者家族となっている。

介護度が低くても介護用品が生活の負担となっている家庭もある。介護用品の支給対象範囲の拡大が必要と考えるが。

〔村長〕現状の制度の中で利用していない家庭へも申請の勧奨をしていく。支給の拡大は、事務的にも簡単にはいかない。今後住民福

〔質問〕自然文化園周辺の樹木が伸び、アルプス等の眺望が悪くなっている。間伐、白樺と草原化等、環境整備を図り、眺望と景観保全対策が必要と考えるが。

〔村長〕文化園は、自然公園として、また原村有数のサンセットビューの拠点と

入区の推進、条例化について、 本格的に検討したらどうか

宮坂 早苗



近隣市町村の対応をみながら 検討していく

るよう、話し合うことが必要ではないか。

〔村長〕住民自治をすすめる意味でも、地域の課題は地域の皆さんで考え、改善を図っていくという集落行動計画でも支障がある。特に東海地震は、近い将来必ず起こると言われている。

地域住民が協力して隣の人を助け出す支え合いが必要となる。区、自治会に加入することは、自身の安全にもつながることになる。

〔質問〕既存の区でも属さない方がいる中、定住する環境が整わない地域に住人が増えるという現況。村民共通の義務や負担、自然環境維持、医療費無料化、防災等、矛盾を感じず、村民全員が信頼関係で結ばれ、幸せであると感じて暮らしたい。

〔その他の質問事項〕
○村政モニターの活動について

〔質問〕村の観光について、重要地域、環境維持管理はどのように考えているか。村の豊かな自然、美しさも観光の重要要素である。維持管理に予算を入れ、保っていくことも必要ではない

か。環境部等も考えたらどうか。

〔村長〕村域全体を観光資源としてみている。美しい景観については、景観と村づくりの会等を活用してきちんとやっていく必要がある。環境部は考えていない。

〔質問〕加工所、直売所の設置をどのように考えるか。
〔村長〕設置については、運営をどうするかということ、常に行き詰まる。商工会長、農協組合長とも相談し、徐々に進めて行きたい。

〔質問〕役場、振興公社等に、村の若者の採用を、積極的にして欲しい。

〔村長〕職員の採用は、村内在住という条件、振興公社となると、特別な能力も必要になり、事業の遂行を考え、公募をかけている。

〔その他の質問事項〕
○給食の産地、放射線量の情報開示について

「村長」強い村づくりは、産業の振興が大事。住民の生活も財政も支える。直売所、加工所をつくり、付加

価値を高め売る。村で開設して、運営は、商工会に委託して進める観光資源は、自然の他に鏝絵、石仏群等拾いだせばある。また、ブランド等施設整備をし、ス

「村長」新しい村づくりへの挑戦で、専任の期限付き参事を採用とあるが、何を

村が発展する、産業振興策の基本的姿は

矢島昌彦

施策は役場の中から考え、商工会、観光協会、農協との連携をきちんと図り進める



「村長」健康づくり、福祉の拠点という使命を認識しながら、職員、住民の皆さんも交え議論していく。議員さんにも知恵を寄せていただきたい。

「村長」三位一体の改革は、地方交付税を締め付け、補助金、負担金を一括交付金化して、国は金を出さない。30億ぐらい規模にしないと村は持たないと考えた。今年度は、3億ほど増えている。

「村長」健康づくり、福祉の拠点という使命を認識しながら、職員、住民の皆さんも交え議論していく。議員さんにも知恵を寄せていただきたい。

「村長」三位一体の改革は、地方交付税を締め付け、補助金、負担金を一括交付金化して、国は金を出さない。30億ぐらい規模にしないと村は持たないと考えた。今年度は、3億ほど増えている。

人権擁護委員に適任と認めました
時田 源夫さん (菖蒲沢)
任期 法務大臣委託の日から
3年間



原村保健センター

議会日誌

7月	4日	町村議会初当選議員 研修会	25日	原村長選挙当選証書 付与式	28日	諏訪南行政事務組合 議会
6日	6日	森林・林業・林産業 活性化促進議員連盟 草刈り	26日	町村議会議員研修会 諏訪湖浄化対策連絡 協議会	29日	山形県白鷹町議会視 察研修来村
7日	7日	全員協議会	28日	3施設合同納涼祭 富士見高原病院老人 保健施設「みづうみ」 起工式	30日	長野県町村議会議長 会政務調査会部会
10日	10日	諏訪地区消防ポンプ 操法・ラッパ吹奏大 会	29日	全員協議会	10月	1日 戦没者追悼式 4～5日 諏訪広域連合議 会
11日	11日	農業委員当選証書付 与式	28日	議会広報編集委員 員会視察研修	26日	商工観光振興懇談会
12日	12日	国民平和大行進	5日	図書館協議会視察	30日	議会運営委員会
13日	13日	第3回臨時会	6日	平和のための信州・ 戦争展	31日	県知事と市長村長と の意見懇談会
14日	14日	茅野市・原村青少年 健全育成推進大会 観光案内所開所式	9日	森林・林業・林産業 活性化議員連盟・長 野県連絡会総会及び 研修会	20日	よいしよまつり
15日	15日	第2回諏訪広域連合 議会臨時会 よいしよまつり祭典 委員会	9日	議会運営委員 会視察研修 記念式典	22日	諏訪地方議会議員交 流会
16日	16日	諏訪郡市国道20号改 修・バイパス建設促 進期成同盟会総会	10日	諏訪市制施行70周年 記念式典	23日	諏訪中央病院組合議 会8月定例会
21日	21日	議会広報編集委員会 村民スポーツ祭 老人クラブ連合会ゲ ートボール大会	11日	鳥取県西部町村議会 議長会視察研修来村 ふるさと大会	27日	諏訪中央病院開院記 年式典
			17日	原村小学校運動会		環境保全審議会
			19日	原村消防団秋季訓練 敬老会		諏訪広域連合議会運 営委員会
			21日	ゲートボール秋期大 会		商工観光振興懇談会
			23日	原村保育所運動会 こひつじ幼稚園運動 会		議会運営委員会
			27日	南諏衛生施設組合議 会		県知事と市長村長と の意見懇談会



編集後記

今年の稲作は豊作、黄金の波は農村の豊かさの象徴。室内区では、カカシコンテストを開催し、田園景観として大勢の方が訪れていました。

新しい議員体制で初めての決算議会、真剣で活発な審議、議論が行われました。東日本大震災にともなう条例の改正、後継者対策としての結婚活動なども話題になりました。

「議会だより」も視察等の結果を活かし、読みやすい、理解しやすい、皆様の声を反映するなど、議会を身近に感じて頂けるよう編集に取り組んで参ります。

(小平 雅彦 記)

編集委員会

- 委員長 小林庄三郎
- 副委員長 小平 雅彦
- 委員 小池 和男
- 同 宮坂 早苗
- 同 鮫島 和美
- 同 日達 徳吉